

自然の中に身を置いて、ただただ、思いのままに全身で感じてみる。五感を最大限に使っていたので何をするにも自然と全力でした。

腹の底から爆笑したり、服のまま湖にダイブしたり、自分の芯がじーっんとする程、感動したり。

自分の一番純粋な部分の感性を感じて、私は本来こういうところにおいて、発信する側でいたい、自分の内側の声を聞きました。あまりにも確かな声だったので、迷いはなかったです。

修行しようと思い、今はハワイ火山国立公園レンジャーとして、来年はNZでネイチャーガイドとして1年働くつもりです。ここでの出会い、四季できた友達だけではなく、四季コースとの出会いは私の人生で間違いなく一番大きな出会いです。

(20代 女性)

心の底から笑い、泣き、ビビる。子どものころは日々当然のように感じていたのに、大人になってからは徐々に失いつつあったもの。毎月訪れる「非日常的な体験」は、そんな感情を一挙に呼び戻しました。

何も着飾らない「ありのままの自然」は、時に美しく、時に醜く、時に穏やかで、時に残酷です。

この講座で経験する「身近な極地」に接していると、自分自身も「着飾っているもの」を取っ払われてしまいます。結果、残るのも純粋な感情。そんな「ありのままの自然との対峙」を経験できる1年。ちょっとしたハードルの連続ですが、今でもちょっとビビって躊躇することがあると、四季講座の頃の自分がドンと背中を押してくれるときがあります。ニヤっとしながら (笑)

(40代 男性)

当時の四季講座への期待は当初、自分を変えたかったからでした。

震災後、自分に何が必要かと考えた時、火おこしが出来れば自分も自分以外の人の助けになる可能性が増すのでは？と閃き、思い浮かんだのが旧知の友人でした。

彼女と彼女の伴侶に自分の思いをぶつけてみた後に言われたのが「四季講座へ行かなきゃ！」でした。ホールアースのことがよくわからないまま、即申し込みを決めました。

登山やキャンプは小学生の時から時折していたものの、屠畜や洞窟探検などの未体験が魅力的であったことが私の好奇心をくすぐりました。

四季講座を通して出逢えた同期、ホールアースのスタッフとの繋がりは、自分の暮らしを更に豊かにしてくれる、何物にも代え難い大切なものとなっています。

四季講座を終えて、自分が変わった、と自分自身がわかることの1つに、これからどうやって自然と暮らしていきたいのか、自分の未来をどうしていきたいのか、明確になったことです。

(30代 女性)





自然の中で色々な体験をしてみたいと受講した四季コースの一年は、多くの人達との素晴らしい出会いと、一人ではできなかった数多くの自然体験を私にさせてくれました。

一例ですが、樹海の森の氷の洞窟ではその神秘的な美しさに感動し、真冬の富士山でのスノーシュートレッキングでは大自然の雄大さに歓喜しました。

そして講座が終了した今もこどもキャンプの応援スタッフとして参加したり、他のイベントにも参加することにより新たな体験をしています。地元ではこれらの経験を活かしてより多くの人に自然の素晴らしさや大切さを訴えようと自然観察会、オリエンテーリング、登山などに仲間を誘い参加しています。

定年退職後の人生の何か自身の生きがいを見つけ、自分が好きな事をやってみたいと考えておりました。

これからも自然を守るために人と自然がどこで折り合いをつければより良い共生ができるかという永遠のテーマを追い続け自然の中で子供たちと楽しく遊びたいと思います。

(60代 男性)

